



# AUE News

2011年7月1日

第 19 号

編集・発行

愛知教育大学広報部会

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



## 目次

### ● 行事予定(7月1-15日)

### ● トピックス

- ・アイシン精機と交流会
- ・中国浙江樹人大学一行が来学
- ・世界一周写真展
- ・生駒野外実習地が本格始動
- ・スーパークールビズを実施
- ・名古屋南高校と名古屋市立北高校PTAが本学見学

- ・書友会展覧会
- ・職員組合BBQ歓迎会
- お知らせ・報告・投稿
- ・韓国光州教育大学校と学生交流協定締結
- ・陸上部の中野弘幸さんがユニバーシアード日本代表決定など大会成績
- ・復興支援金を寄付
- ・同窓会総会・懇親会
- ・高橋利幸さんの中国留学記④
- ・催しもの案内

## 行事予定(7月1-15日)

- 1日(金) 愛知教員養成コンソーシアム (15:00～ 第五会議室)
- 5日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)
- 6日(水) 教務企画委員会 (13:30～ 第二会議室)  
学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)  
大学改革推進委員会 (15:30～ 第三会議室)
- 12日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)  
カリキュラム専門委員会 (16:40～ 第三会議室)
- 13日(水) 代議員会 (13:30～ 第五会議室)  
教育研究評議会 (代議員会終了後～ 第五会議室)

## トピックス

### アイシン精機と交流会(6/15、22、29)



6月15日(水)、本学の外国人留学生6名と日本人学生5名が国際交流センター事務職員引率のもと、アイシン精機を訪問した。外国人留学生、日本人学生、そしてアイシン精機職員のよい交流の場となっているこの交流会は毎年、アイシン精機課長会のメンバーにより開催されており、今年で13回目を迎えた。

交流会は、アイシン精機コムセンター見学、相撲部見学、そして相撲部特製ちゃんこ鍋を囲んでの食事会という内容。コムセンターでは、アイシン精機の技術

や理念を紹介するビデオを鑑賞し、実際に製品に手を触れ、課長会メンバーからの詳しい製品説

明を聞きながら、高い技術により造られた製品の数々を見学した。自分たちの身近にあるものが、アイシン精機により造られていると知った学生からは、驚きの声が多数聞かれた。

続けて行われた相撲部見学では、激しいぶつかり稽古を見ておもわず声を出す学生や、熱の入った取組に熱心に見入る学生も。見学後は、相撲部、アイシン精機の方を交え、おいしいちゃんこ鍋を囲みながら、日本での留学生活や相撲についての話



に花が咲いた。交流会を終え、外国人留学生のシンジルトさんからは、「高い技術を用いて開発された精密機械を取り扱う一方、日本国技の相撲という伝統的なスポーツを大切に

する考えに感激した」との感想が寄せられた。この交流会は6月22日(水)、29日(水)にも同様の内容で行われた。

(教育創造開発機構運営課 小林美和)



### 中国浙江樹人大学一行が来学(6/17)

中国杭州市の私立・浙江樹人大学の教授らの一行が6月17日(金)、松田正久学長を表敬訪問した。一行は日本近代思想の研究者で文学博士の卞崇道同大外国語学院教授をはじめ王雲国際交流センター副所長、外国語学院の張彦副院長、沈秋江副院長、張建萍副教授、任萍副教授の6人。松田学長が1986-1989年に本学大学院で学んだ陳化北同大客員教授と親交があり、その縁で今回の訪問が実現した。



学長室で歓迎したのは、松田学長、折出健二理事、渡辺和靖教授(社会科教育)、前田勉教授(社会科教育)、稲葉みどり教授(日本語教育)、時衛国准教授(外国語教育)ら。松田学長が「縁あって高名な卞先生にも来ていただいた。歓迎します。ソウルで開催された日中韓の教員養成シンポジウムに出席して帰ったばかりですが、これからは東アジアの時代、との議論も出ました。本学は教員養成とともにリベラルアーツの教育も進めています。貴学と学生の交流ができればありがたい」

とあいさつ。

卞教授は「日本の大学との交流を進めていますが、貴学のようなレベルの高い大学との交流は我々にとって大いに役に立つと思います。歓迎していただきありがとうございます」と述べた。出席者の自己紹介に続いて、折出理事が本学の歴史、概要を説明。王雲副所長らは同大が1984年に創立され、2000年に4つの専門学校と合併、現在の学生数は15000人余などと紹介した。意見交換では授業料、日本語教育などが話題となり、稲葉教授が本学の留学生教育について説明した。

記念写真撮影、記念品交換などの後、一行は学内を見学。熱心に質問をするなどして本学への関心の高さを示し、満足げに宿泊先に向かった。



### 世界一周写真展(6/18-26)

刈谷駅前商店街スペースAquaで、「世界一周写真展～バックパッキングのススメ」が6月18日(土)～26日(日)に開催された。





本学と刈谷駅前商店街のコラボ事業 2011「U NOセクション」の第2弾。本学卒業生で、現在は名古屋文理大学、愛知産業大学非常勤講師を務める木村亮介さん（32）の写真作品約70点を展示。

木村さんは2001年に本学美術科を卒業後、高校の美術講師、印刷会社の制作ディレクターを経て、2006年に結婚と同時に退社し、新婚旅行を兼ねて夫婦で世界一周旅行へ出発した。船で中国・天津へ渡ったのを皮切りに、ベトナム、カン

ボジア、ミャンマー、インド、ネパール、エジプト、ヨルダン、シリア、トルコ、ギリシア、イタリア、オーストラリア、チェコ、ドイツ、アメリカ、メキシコ、エチオピア、ケニア、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ、モザンビーク、南アフリカ、の計25カ国を、1年5カ月かけて旅した。写真展では、旅で出会った人々の生き生きとした表情や、ダイナミックな風景が紹介された。

木村さんは「在学中、担当の先生にいろいろな国に行かれた話を聞いて、いつか僕も行きたいなど。就職して3年半お金を貯めてバックパッキングに出発。世界を旅したことで、いろんな視点から日本を知ることができました。世界にはいろんな常識や問題があって、自分たちだけでないことを作品を見て考えてもらえたら、嬉しい」と笑顔で話した。

19日（日）と26日（日）には座談会が開かれ、旅の映像などを交えて、体験談を披露。来場者から「インドでのトラブルは」「英語はどのくらい出来るといいですか」などの質問が相次ぎ、盛況だった。



### 生駒野外実習地が本格始動(6/20)



本学に寄付された「生駒野外実習地」で、技術専攻の学生たちがサツマイモの苗を植える実習を6月20日（月）に行った。

同実習地は、大学キャンパスから5kmほど南南東に位置し、広さ7357㎡。昨年、本学関係者から、大学で役立ててほしいと寄付された農地。本年度から、生物（植物）、環境、植物等の教育・研究活動用に活用される。

この日は、技術専攻3年の学生たちが授業で訪

れ、サツマイモの苗約70本を「舟底」と呼ばれる方法で、畝に30cmの等間隔に一本ずつ丁寧に植えた。作業を終えると、敷地内でたわわに実ったピワを取って、ほお張った。同実習地は、約4分の1が水田として耕され、その1週間ほど前には田植えが完了。また、畑でもすでにサツマイモやスイカの苗が植えられており、8月初旬から収穫が行われる予定。来年度からは教職員や一般に開放する市民農園の計画もあり、実施に向けて水道やトイレなど必要な整備を整えていく予定。



### スーパークールビズを実施(6/22-9/30)

今夏の省エネ・節電対策の取り組みの一つとして、本学ではスーパークールビズを6月22日（水）から開始した。9月30日（金）まで。



すでに、5月から従来のクールビズが実施されているものの、この夏は原子力発電所の休止による電力不足が予想され、暑い夏を乗りきるために服装を簡素化するスーパークールビズを本学でも採用した。

スーパークールビズにより、教職員はデスクワークや学内会議でのポロシャツ、Tシャツ、チノパンの着用やスニーカーでの執務、学外会議ではノーネクタイ、ポロシャツ、上着なしで

の出席が可能に。作業日には、ジーパンやサンダル履きなども1日を通してできることになった。各課では、趣旨に賛同して早速、ポロシャツやTシャツで勤務する教職員の姿が見られた。

また、7月1日（土）からは生協との協賛で、大学のシンボルマークをあしらったポロシャツの販売がスタートし、スーパークールビズの一層の推進を図る。

### 名古屋南高校と名古屋市立北高校PTAが本学見学(6/22、28)

愛知県立名古屋南高等学校のPTAが6月22日（水）、本学を見学に訪れた。

一行は2年、3年の保護者44人と教員2名の計46人で、午前9時30分にバスで本部棟に到着。3階の第五会議室で、本学の概要や入試、就職実績などについて、各担当課の職員が説明すると、メモをとるなどして熱心に耳を傾けた。

説明会の後は、附属図書館や美術実習棟、自然科学棟などを見学。ガラス工房では、佐々木雅浩准教授がガラス作品づくりの工程を説明すると、「ガラスの造形が学べるのはユニーク」と興味深そうに聞き入っていた。

28日（火）午後には、名古屋市立北高等学校のPTAが来学。1～3年の保護者37人と教員2人は、バスで到着後、第二共通棟422教室での大学説明を受けた。施設見学では、附属図書館、体育館、音楽棟、美術実習棟などを、真夏の暑さにも負けずに意欲的に見学。特に見学希望のあった音楽棟では、練習室やステージのある小ホールなどを見て、「音楽を勉強するのによい環境ですね」と感想を口にしていた。



### 書友会展覧会(6/27-7/1)



書道サークル「書友会」の展覧会が、本学附属図書館アイ♥スペースで6月27日（月）～7月1日（金）に開催された。



出品したのは、サークルに所属する山本愛子さん（中等・国語・書道専攻4年）、北村義弘さん（中等・技術専攻3年）、安藤喜紀さん（中等・国語・書道専攻2年）、江川彩香さん（初等・国語選修2年）、小島恵里子さん（同）の5人。それぞれ中国の古典から選んだ題材を軸装にした作品と、合作の五言絶句の計6点を展示。静かさの中にも若さと個性を感じさせる作品が並んだ。

### 職員組合BBQ歓迎会(6/29)

愛知教育大学職員組合（太田弘一委員長）が主催するBBQ歓迎会が6月29日（水）午後6時





から、自然観察実習園で行われた。

新任職員を歓迎するために、毎年この時期に開催される組合の恒例行事。この日は、約 20 人が参加し、自己紹介をしながら BBQ を囲んで、歓談。この日、日中の気温は 35 度を超える猛暑日だったが、夕方には暑さも一段落して、参加者は冷たい飲み物を片手に、食べて、語り合っ、エネルギーを充電した。

## お知らせ・報告・投稿

### 韓国光州教育大学校と学生交流協定締結(報告)



本学と韓国・光州教育大学校が、「学生交流に関する協定」を 6 月 13 日 (月) に締結した。本学の海外の協定締結校としては 19 校目、韓国では晋州教育大学校に続いて 2 校目となる。

協定式は、光州教育大学校で開かれ、本学からは松田正久学長、国際交流担当の宮川秀俊国際交流センター長、同センターの宮内春菜国際交流専門職員、広報室の小林則子広報専門職員が出席。光州教育大学校

の朴南基学長、千景禄企画部長らの出迎えを受けて、学長室で歓談した後、式に臨んだ。

参列者が紹介され、学生交流に関する協定内容を両校が確認した上で、両校の紹介が行われ、松田学長と朴学長が協定書に署名して書面を取り交わし、協定は無事に成立。

松田学長は「3 年前に朴学長から協定締結の要請があり、本学として準備をしてきました。歴史ある光州教育大学校と協定を結べて光栄です。今後は、学生はもちろん、教員・研究者を含む交流を進めていきたい」とあいさつ。これに、朴学長は「日本の教育大学との協定は 3 校目ですが、規模としては貴校が一番大きい。協定により新しい関係ができることを期待している」と応え、両学長はガッチリと握手を交わした。

光州教育大学校は朝鮮半島南西部の人口約 140 万人の光州広域市にあり、学生数は学部が約 2000 人、大学院が約 500 人、教職員数 200 余人。1938 年に創立されて以来、小学校教員養成に取り組んでいる。協定締結により、今後、定期的に学生や教員の交流が行われることになる。

協定式の後、松田学長らは朴学長の案内で大学構内の講義棟、図書館、学生センター、教育歴史博物館、附属小学校などを見学。ゲストハウスに宿泊し、学生寮で学生たちと一緒に食事をするなど、大学の様子を視察した。

#### ◆協定校「晋州教育大学校」訪問



また、光州教育大学校との協定締結に先駆けて、松田学長らは 6 月 9 日 (木) に釜山経由で韓国入りして、晋州教育大学校で、同大の鄭寶柱学長らを表敬訪問して歓談。松田学長は、東日本大震災の際に同大学から送られたお見舞いの手紙に感謝を述べ、その後の状況などを説明した。続いて、学内施設を見学し、本学からの留学生や、同大から本学に留学したことのある学生らと面談。学生寮で昼食をともに談笑した後、留学生の案内で晋州城跡や国立歴史博物館などを見学した。

#### ◆東アジア教員養成シンポジウム

さらに、11日(土)には、ソウル教育大学校と京仁教育大学校が主催し、ソウル教育大を会場に開かれた「東アジア教員養成シンポジウム」に出席。日本、韓国、中国、香港、台湾、ベトナムの教員養成系大学の関係者150余人が集い、松田学長も「愛知教育大学の教員養成改革と教養教育について」と題して講演。教養教育は日本のみならず、東アジア各国の教員養成の課題でもあり、パネルディスカッションでは、出席者からの質問や意見が相次ぎ、活発な議論が繰り広げられた。



12日(日)は、シンポジウム参加者とともに、ソウル市内を視察。昼食会にはソウル教育監の郭魯炫氏も出席して、参加者と歓談した。

### 陸上部の中野弘幸さんがユニバーシアード日本代表決定など大会成績(報告)

陸上部の院生、中野弘幸君(体育M1年)が、6月12日(日)の日本選手権で4位(学生で2位)に入賞。タイムもユニバーシアード派遣標準記録を突破しており、学生のオリンピックである、ユニバーシアード日本代表に選ばれました。出場種目は、400mと4×400mリレーの二つです。

なお、同日本選手権で、女子走り高跳びの堂ノ下藍(体育2年)も4位(学生1位)に入賞しております。

そのほかの大会成績は次のとおりです。

#### ●学生選手権大会(6月17(金)～19日(日)・平塚陸上競技場)

女子3000SC 花岡紗耶 5位

走高跳 堂ノ下藍 5位

棒高跳 渡邊みなみ 5位

井上裕生 8位 にそれぞれ入賞しました。

#### ●東海国立体育大会陸上競技 6月25日(土)・草薙陸上競技場

男子 総合優勝、フィールド優勝

女子 総合優勝、トラック優勝、フィールド優勝

男子優秀選手 安田 和弘(2年)

女子優秀選手 片嶋 佑果(4年)

種目別優勝は、

男子 4×400mR 日比野 陽平(4年) 原井川 巧(2年) 平野 達也(3年) 立脇 慧一(3年)

男子 棒高跳 安田 和弘(2年) 大会新

男子 三段跳 佐脇 匠(2年)

男子 やり投 木原 拓馬(1年)

女子 400m 滝井 亜由美(1年)

女子 100mH デメロ 香織(1年)

女子 4×100mR 近藤 希実(4年) 滝井 亜由美(1年) 木引 悠起子(1年) 愛敬麻矢(2年)

女子 4×400mR 小杉 さくら(2年) 大道 爽香(1年) 中井 香苗(2年) 愛敬 世菜(3年)

女子 走高跳 下間 祥子(2年)

女子 走幅跳 大道 爽香(1年)

女子 砲丸投 武蔵 千里(3年)

女子 円盤投 片嶋 佑果(4年)

(陸上部顧問 筒井清次郎)

### 復興支援金を寄付(報告)

本学では東日本大震災の被災地への復興支援金を、全学を挙げて募っていましたが、5月31日をもって終了することにいたしました。総額は1,159,730円となりました。これらは、日本赤



十字社を通じて、現地の復興に役立てられます。御協力ありがとうございました。

(総務課 繁野哲)

## 同窓会総会・懇談会(報告)



6月11日(土)に名古屋市中区のローズコートホテルにて、愛知教育大学同窓会総会及び懇親会を開催しました。当日は同窓生約200名の参加があり、同窓会会長の柴田録治様のご挨拶と、来賓として愛知教育大学副学長 折出健二様、岩崎公弥様、都築繁幸様、愛知県教育委員会委員長の加古博様、前名古屋市教育委員会委員長の神谷龍彦様等をお迎えして、お祝いと励ましのお言葉を頂きました。

また、事務局長より、東日本大震災への愛知教育大学同窓会からの義援金100万円を中日新聞に寄託したことの報告があり、ご理解とご協力を賜りました会員の皆様へのお礼の言葉が述べられました。

引き続き開催された懇親会では、近況報告や学生時代の思い出話で盛り上がりました。卒業生は学校、企業、官公庁等の様々な分野で活躍しており、普段は接することのない分野の方とも親しく交流ができ、有意義な交流の場となりました。特に、近年の厳しい状況の中で教育の意義や役割などについて活発な意見交換がなされました。このような交流や新たな出会いは今後の発展につながるものと期待しております。

このような会を開催できましたのは、皆様方のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

(愛知教育大学同窓会事務局長 野田敦敬)

## 高橋利幸さんの中国留学記④



5、6月は長春にあるさまざまな大学を訪問して授業をさせてもらい、アンケートをとらせていただきました。そこで今回は長春にある大学紹介をしたいと思います。

5月9日には吉林大学生命科学学院、華橋外国語学院、6月15日には吉林交通職業技術学院にアンケートをしに行きました。長春には日本人が少なく、日本人との交流がめったにないらしく歓迎してもらい、授業と一緒に参加させてもらい、食事もさせてもらいました。



吉林大学生命科学学院では日本語の授業の時間をいただいて、愛知県について紹介しました。一度に多数の外国人生徒に教えるのは初めての経験で最初は緊張しましたが、熱心に話を聞いてくれて、解らないところはすぐに質問してくれるなど、とても和んだ雰囲気での授業でした。外国人生徒に教える機会は日本ではとても少ないので今回いい経験になりました。



5月25日には華橋外国語大学(毎週月曜日は制服着用、髪染め禁止、週末以外は無断外出禁止)で日本語学科学学生主催の日本文化祭が開かれ参加させてもらいました。1年生から4年生の学生が今まで学んできた日本語を使って演劇(もも太郎など)、踊り(AKB48など)さまざまなパフォーマンスをして観客を魅了していました。彼らの話す日本語は日本人そっくりとまではいかないものの、がんばって話そうとする姿は自分自身の姿を見ているみたいでした。どの言語におい



でも母国語を話す人にはかなわないのは当たり前、だからこそ自分自身が必死に伝えようとするのが大切なんだと改めて実感させられました。

留学期間も残りわずかとなってきました。残りの留学期間を悔いのないように過ごしたいと思います。

(現代学芸課程国際文化コース2年 東北師範大学留学中  
高橋利幸=写真左)

## 催しもの案内

### ◆古書のリサイクル配布会

7月5日(火)～15日(金) 附属図書館開館時間内

附属図書館2階アイ♥スペース

本学附属図書館の除却図書約1万点を処分。配布図書の内訳、開館時間などは図書館ホームページを参照。

<http://www.auelib.aichi-edu.ac.jp/>

### ◆第4回サイエンス・カフェ

7月7日(木) 18:00～20:30

自然科学棟5階、屋上天文台

「七夕講演会」(18:00) カフェタイム(19:00) 観望会(19:20) など。

詳細は「科学・ものづくり教育推進センター」のホームページを参照。

<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/>

### ◆うるし造形展

7月16日(土)～24日(日) 10:00～17:00 水曜休館

刈谷駅前商店街 駅前ギャラリー「スペースAqua」

UNOセレクションの第3弾。本学OBによる展覧会。伝統にとらわれない新しい漆器の魅力を紹介。17日はワークショップ「おわんを、蒔絵でデコっちゃおう！」を開催(申し込み締め切り7月11日)。

問い合わせは ☎0566・23・3678

## 編集後記

韓国の協定校訪問、新たな協定締結式、東アジア教員養成シンポジウムと、韓国出張での1週間は、なかなかハードな日々でしたが、新たな発見もいっぱい。韓国政府は国立大学に多大な投資をしていて、訪問した大学の制度や設備の充実ぶりに目を見張ることもたびたびありました。林立する高層マンションやオフィスビルに韓国の躍進を感じる一方、郊外では昔ながらののどかな暮らしや自然が残され、韓国の人々の柔軟さを見た思いがしました。協定校やシンポジウムで出会った大学関係者は皆さん、フレンドリーかつエネルギッシュで、同じ東アジアの一員として「日本も頑張らなきゃ！」と元気と勇気もらった気がします。(K)

## 投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:[kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp) 編集責任者:総務担当理事 折出 健二